



平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	58,763	△1.0	1,776	—	1,650	—	794	—
23年8月期第3四半期	59,348	△6.4	△842	—	△974	—	△2,389	—

(注) 包括利益 24年8月期第3四半期 783百万円 (—%) 23年8月期第3四半期 △2,375百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	39.09	—
23年8月期第3四半期	△128.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年8月期第3四半期	51,015	26,309	51.3	1,265.23
23年8月期	52,069	25,145	48.0	1,243.77

(参考) 自己資本 24年8月期第3四半期 26,170百万円 23年8月期 24,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	10.00	—	6.00	16.00
24年8月期	—	5.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	77,800	2,070	1,830	820	40.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名） 、 除外 2社 （社名） 株式会社イズ・プランニング
株式会社壽司岩

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期3Q	21,198,962 株	23年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	24年8月期3Q	514,388 株	23年8月期	1,114,274 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期3Q	20,336,462 株	23年8月期3Q	18,619,518 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年5月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により企業の生産活動や個人消費に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州金融不安を発端とした世界経済の減速懸念や長期化する円高等に加えて、新たに電力供給問題やエネルギーコストの上昇懸念なども加わり、ますます先行き不透明感が深まる状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における収益力の早期回復」を最重点経営課題として認識し、既存店舗対策の強化、昼営業や宴会営業の強化、店舗オペレーション体制やワークスケジュール管理の強化、店舗イベント企画の充実、主要食材の原価低減、教育研修システムの充実、食材の安全性確保の強化などに取り組みました。また、9月1日付で飲食事業を営む100%子会社である株式会社イズ・プランニング及び株式会社寿司岩を当社に吸収合併いたしました。このグループ店舗網の集約化により、グループ店舗組織体制を刷新するとともに間接部門を中心とした大幅なコスト削減を図りました。一方、店舗展開においては、当社グループで新規出店を2店舗、店舗改装（業態転換を含む）を16店舗、店舗閉鎖を12店舗で行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.0%減少の58,763百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、既存店売上高は昨年6月以来、12ヶ月連続で前年同月比を上回っておりますが、特に3月が131%と大幅回復したこともあり、当期累計では対前年比107.2%と好調に推移いたしました。しかしながら、前期に95店舗の店舗閉鎖を行ったことが主要因となり、売上高は前年同期比1.8%減少の51,486百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社の外部に対する売上が減少したこと等により、売上高は前年同期比16.0%減少の2,613百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期比9.4%増加の693百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が増加したこともあり、売上高は前年同期比6.9%増加の301百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期比27.7%増加の3,669百万円となりました。

一方、利益面につきましては、既存店売上高の好調に加えて、前期に行った大規模なリストラチャリングによる収益改善や子会社吸収合併によるコスト削減効果等もあって、前年同期に比べて大幅改善となり、営業利益は1,776百万円（前年同期は営業損失842百万円）、経常利益は1,650百万円（前年同期は経常損失974百万円）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務に係る特別損失がなくなったことなどにより、四半期純利益は794百万円（前年同期は四半期純損失2,389百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,134百万円増加となりました。これは、現金及び預金が2,376百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は36,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,187百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が1,982百万円減少したことや敷金及び差入保証金が1,278百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は13,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ626百万円減少となりました。これは、1年内償還予定の社債が620百万円増加したことに対し、短期借入金が580百万円減少したこと及び未払金が289百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,591百万円減少となりました。これは、長期借入金が1,037百万円減少したことやリース債務が409百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は26,309百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,164百万円増加となりました。これは、四半期純利益の計上等により利益剰余金が473百万円増加したことや、自己株式600千株の第三者割当処分により自己株式が702百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において連結子会社でありました株式会社イズ・プランニング及び株式会社壽司岩は、平成23年9月1日付で当社が吸収合併したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,472	10,848
売掛金	2,218	2,423
商品及び製品	470	497
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	190	198
繰延税金資産	567	297
その他	1,179	989
貸倒引当金	△238	△261
流動資産合計	12,860	14,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,352	8,933
機械装置及び運搬具（純額）	268	272
工具、器具及び備品（純額）	966	789
土地	9,311	9,263
リース資産（純額）	1,920	1,568
建設仮勘定	1	12
有形固定資産合計	22,821	20,838
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	40	30
その他	152	174
無形固定資産合計	1,105	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	150	168
出資金	6	6
長期貸付金	62	50
差入保証金	8,391	7,594
敷金	4,866	4,383
繰延税金資産	1,623	1,652
その他	418	440
貸倒引当金	△238	△233
投資その他の資産合計	15,281	14,064
固定資産合計	39,208	36,020
資産合計	52,069	51,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345	2,320
短期借入金	3,975	3,395
1年内返済予定の長期借入金	2,364	2,154
1年内償還予定の社債	55	675
リース債務	539	542
未払金	3,049	2,760
未払法人税等	245	244
未払消費税等	199	344
賞与引当金	174	148
株主優待引当金	89	70
店舗閉鎖損失引当金	148	15
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	237	29
その他	507	603
流動負債合計	14,011	13,385
固定負債		
社債	3,867	3,820
長期借入金	4,001	2,964
リース債務	1,613	1,204
退職給付引当金	1,156	1,147
役員退職慰労引当金	523	495
受入保証金	607	537
資産除去債務	1,110	1,134
その他	31	16
固定負債合計	12,912	11,320
負債合計	26,924	24,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,141	8,614
自己株式	△1,304	△602
株主資本合計	25,370	26,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	60
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△390	△376
少数株主持分	164	139
純資産合計	25,145	26,309
負債純資産合計	52,069	51,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	59,348	58,763
売上原価	21,063	20,807
売上総利益	38,284	37,955
販売費及び一般管理費	39,127	36,179
営業利益又は営業損失 (△)	△842	1,776
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	2
その他	68	106
営業外収益合計	71	110
営業外費用		
支払利息	146	129
貸倒引当金繰入額	2	5
その他	54	100
営業外費用合計	204	236
経常利益又は経常損失 (△)	△974	1,650
特別利益		
固定資産売却益	5	5
貸倒引当金戻入額	15	—
賞与引当金戻入額	60	—
受取補償金	47	108
特別利益合計	128	114
特別損失		
固定資産売却損	21	4
固定資産除却損	243	77
店舗関係整理損	46	59
減損損失	732	387
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	697	—
災害による損失	18	—
訴訟損失引当金繰入額	78	—
特別損失合計	1,839	529
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,685	1,235
法人税、住民税及び事業税	242	225
法人税等調整額	△546	239
法人税等合計	△304	465
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,381	770
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	7	△24
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,389	794

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△2,381	770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	13
その他の包括利益合計	5	13
四半期包括利益	△2,375	783
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,383	808
少数株主に係る四半期包括利益	7	△24

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はございません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成22年９月１日 至 平成23年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,449	3,110	633	281	56,474	2,874	59,348	—	59,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	8,705	566	—	9,291	1,014	10,306	△10,306	—
計	52,468	11,816	1,199	281	65,766	3,888	69,655	△10,306	59,348
セグメント利益又は損失 (△)	△183	436	239	168	660	63	723	△1,565	△842

- (注) １．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
- ２．セグメント利益又は損失の調整額△1,565百万円には、のれんの償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,573百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- ３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産及びのれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において581百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において151百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	51,486	2,613	693	301	55,093	3,669	58,763	—	58,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	8,717	406	—	9,138	794	9,932	△9,932	—
計	51,501	11,330	1,099	301	64,232	4,463	68,696	△9,932	58,763
セグメント利益	2,446	514	206	238	3,406	31	3,438	△1,661	1,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,661百万円には、セグメント間の取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,668百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において272百万円であります。

「卸売事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において47百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において64百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月7日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分をアサヒビール株式会社との間で実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が97百万円減少するとともに、自己株式が702百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が8,614百万円、自己株式が602百万円となり、株主資本合計は26,547百万円となっております。

以上